広報すながわ
令和４年
11/15
No.2243

僕らが砂川（ここ）でできること

～8人の地域おこし協力隊～

特集

UD FONT by MORISAWA

―特集―

僕らが砂川でできること

～8人の地域おこし協力隊～

人口減少や高齢化が進んでいる地方では、労働力不足（人手不足、後継者不足など）から地域経済の縮小などの問題に直面しており、砂川市も例外ではありません。こうした状況を打開する一つの手段として、地域協力活動を行ってもらいながら定住を図り、地域力の維持・強化を目的として地域外から〝地域おこし協力隊〟を受け入れています。

全国の協力隊員の数は年々増加しており、令和3年度では6000人を超える協力隊員が各地で活動を行っています。1～3年の活動期間を終えた後、6割以上がその地域に定住、その中でも北海道に定住する割合は高いと言われています。（出典元：総務省）

現在、砂川市で活動している協力隊員は8人。全員が同じ仕事をしているわけではありません。農作業支援、健康づくり支援、移住者受け入れ促進、商店街活性化、地域ブランドのプロモーションなど、協力隊の仕事は多岐にわたります。今号では、8人の協力隊員を取材し、それぞれの活動に迫りました。協力隊員たちは一体どこでどのような活動をしているのか。そこには、協力隊員と彼らに関わる人々との化学反応により、少しずつ、それぞれの形で砂川の未来を作ろうとしている姿がありました。

砂川発のワインづくり 目指すは、砂川初のワイナリー設立

来年8月に新規就農。苦労はあれど実りある3年。

新保 里佳（しんぽ りか）さん
（隊員歴３年目）

配　属：農政課 農政係
出身地：札幌市
趣　味：絵を描くこと

令和2年8月に協力隊員となった新保さん。酪農学園大学出身で、卒業論文ではワインの研究をしたといいます。協力隊員になる前は一般企業の研究施設に勤めていたそうですが、新型コロナウイルス感染症の影響により部署が解散。これをきっかけに、大学時代の恩師から紹介された砂川市の地域おこし協力隊となり、東豊沼高橋農場にてぶどうの栽培を始めました。

高橋農場の畑の面積は1.5ヘクタール。その広大な畑でソーヴィニヨン・ブラン（白ワイン用の品種）約2500本、ピノ・ノワール（赤ワイン用の品種）約500本、そのほかに日本で生まれた品種のアルモノワール、珍しいジーガレーベなどさまざまなぶどうを育て、岩見沢市の10R（トアール）ワイナリーでワインを作っています。農作業は、基本的には農場長の高橋祥二（しょうじ）さんと新保さんが行っていますが、酪農学園大学のワインサークルROWP（ロープ）の学生や新保さんのご主人とお母さん、農場長の友人が手伝いに来ることもあるそうです。

来年8月に農場を引き継ぎ、新規就農する予定で現在準備中。これと並行してワイナリー設立に向け、10Rワイナリーでの研修や道庁が実施している「北海道ワインアカデミー」を受講しています。「これまでのデータを活用した農園づくりを目標にして、どちらかといえばドメーヌワイン（ぶどうの栽培から醸造、熟成、瓶詰までを生産者が行う一貫生産のワイン）としてやっていきたいと思っています。農作業をしながら農場を引き継ぐ準備や事務仕事をするのは大変ですが、手伝ってくれている方々のお力を借りつつ、順調に活動できています！」

ぶどう栽培の流れ

1 4月22日【枝上げ】

まず行うのは、冬の間におろしていた枝を上げる「枝上げ」という作業。垣根状に張った針金にこよりを使って枝を固定していきます。鹿やスズメバチの被害を防ぐため、電気柵などでの対策も行います。

ぶどうは元々は乾燥地帯の植物であるため基本的には雨だけで育てますが、雨が多すぎても、少なすぎても十分に育ちません。「昨年は干ばつがひどくて水やりをしました。今年も気候が読めず不安ですね」と新保さん。

▲この「こより」は２～３年で自然分解されます

2 6月6日【芽かき】

5月中旬～6月にかけて「芽かき」を行います。芽かきとは、1つの枝に対してつけさせる実の数を制限し、より成分が濃縮したぶどうを採るための間引きの作業です。病気の発生を防ぐという目的もあり、適切な芽かきを行わなければ枯れてしまいます。「フルーツライン」と呼ばれるぶどうが実る位置（写真右）が一定の高さにそろうよう、1つの枝に2本ほど芽を残し、余分な芽は取ってしまいます。

今年の芽吹きは順調です！ by 新保さん

▲木へのダメージを軽減するため、若い芽のうちに取ってしまいます

3 8月29日【クリーニング】

8月初旬～中旬までは、枝を2メートルほどの高さにそろえる「摘芯（てきしん）」という作業を行います。木の風通しを良くし、日光がまんべんなく当たるようにすることで、病気を予防します。枝の生長が止まり実の生長が始まると、次は筆や収穫バサミ（写真右）を使って、虫に食べられた実や病気の実、未成熟果を取ったり、花かすをほろい落とす「クリーニング」という作業を収穫まで継続して行います。「今年は害虫による食害が多いですね。雨が多かったことで生理障害や免疫にも問題が出ています…」と新保さん。

▲痛んだ実を一つひとつ除去する地道なクリーニングの作業

4 10月8日【収穫】

収穫後は岩見沢市の10Rワイナリーで醸造作業を開始します。収穫からワインのリリースまで約1年半を要します。新保さんのワインを楽しめるのはまだ少し先ですが、早く味わいたいですね！「今年はシーズン序盤から芳しくなく雨も多かったため、ぶどうの調子が悪く作業の手数が増えてしまいました。大変でしたが、北海道ワインアカデミーで栽培技術を学んだり、先生や仲間を頼ることができたという良かった点もありました。来年はより良くできそうです！」と新保さんの意欲は満々です！

▲痛んだ実を除去しながら収穫。酪農学園大学の学生もお手伝い

ワンポイント豆知識　ワインづくりも「トレンド」が大事！

髙橋農場では除草剤をあまり使わない方針でぶどうを栽培しています。今年は減農薬に挑戦。髙橋農場のような慣行農法（農薬や肥料を使用するなどして、作物の収量最大化を目指した農法）から有機（無農薬）栽培への移行はとても難しいとのことですが、「世界のトレンドとして無農薬やバイオダイナミック農法が流行していることもあり、そうした農法に挑戦している人の話を聞いたり勉強したりしています。商売をしていくうえでトレンドは大事です！」と新保さん。農法によってワインの味も変わるそうです。奥が深いですね…。

子育てをしながら新規就農へ

池田 愛莉（いけだ あいり） さん
（隊員歴１年目）

配　属：農政課 農政係
出身地：鹿児島県鹿児島市
趣　味：旅行、カフェ巡り

「砂川で農業をしたい！」と思い、移住を決意

砂川で農業をするため、今年の４月に協力隊員となった池田さん。子育てがひと段落した頃にパートタイムで農業を始め、その後新規就農を決意。農業歴は６年目を迎えます。

池田さんは砂川に来る前から新規就農を目指し、研修や活動を行っていたそうです。「知人の（砂川で農業を営んでいる）中道さんから砂川でやってみたらどうかとお誘いいただき、その後、地域おこし協力隊の制度について知り、応募しました。中道さんや市役所の担当の方が歓迎してくれたことで、砂川でなら子育て中の女性でも新規就農にチャレンジできるのではないかと思い、移住を決めました。」

砂川に来てまず始めたのは、きゅうりの栽培。４月下旬に苗を移植してから、６～10月にかけて収穫を行います。

７月からはミニトマト農家での研修を開始。さまざまな農家を見て回り、作物の栽培について勉強しています。「それぞれの農家で栽培の仕方などが違うので、いろいろなやり方を知ることができ、勉強になります。作物の状態をよく観察して、状況に合わせた追肥や防除などを適宜行えるようになりたいです。」

現在は、ミニトマトの施設栽培を中心とした農業経営を始めることを目標に、研修を続けているそうです。「たくさんのミニトマトを出荷できるようになるためには、パートさんなどを雇うことも必要になってくるので、より良い職場環境づくりや働きやすい雰囲気づくりなども残りの任期で学び、新規就農を目指したいです！」

これからの砂川の農業を担っていく池田さんの活躍に大注目です！

きゅうり栽培の流れ

1 ４月 20 日【鉢上げ】

▲ 4,000 株をひたすら移植

まず行うのは、きゅうりの育苗苗（いくびょうなえ）をポットに移す「鉢上げ」の作業。苗が届いたその日のうちに移植しなければならないため、作業は１日で終わらせます。その数、約 4,000 株。これらを全て手作業で行います。

移植後は、通常７～10 日ほどビニールハウス内の温かい環境で根をしっかり張らせ、ある程度育つと畑へ植え替え（定植）ます。

2 ５月 11 日【定植】

▲夏場のビニールハウスは閉めきると 40 度くらいになるそうです

この日はポットで育てた苗を畑に植え替える「定植」の作業。約 4,000 個を３～４日かけて植え替えます。暑いビニールハウス内での作業はかなり大変だそうで、「これまではハウスを使わない農業に携わることが多かったため、とても暑いです（笑）」と池田さん。

６月下旬に花が咲き、徐々に収穫が始まります。

3 ６月 17 日【収穫】

出荷初日のこの日は約 250kg を出荷。10 月まで毎日収穫と出荷を繰り返します。

▲手の平に収まるほど小さかった苗が背丈を超え、きゅうりも大きくなりました！

砂川の魅力をデジタルで発信

桐井 将暢（きりい まさのぶ） さん
（隊員歴１年目）

配　属：政策調整課 企画調整係
出身地：札幌市
趣　味：空港と温泉めぐり

「知らないまち」を「住んでみたいまち」に

今年の４月に協力隊員となった桐井さん。テレビ局の人？と見間違えてしまうほど大きなビデオカメラと三脚を担ぎ、市内のイベントなどに出向いている姿が記憶に残っている方も多いかもしれません。

砂川市への移住・定住の促進業務を担当する桐井さんは、市外の方へ向けて、主にＹｏｕＴｕｂｅで砂川の魅力を配信しています。イベントの様子や市内のお店の紹介など、ニュース番組のように制作された動画は、市民の皆さんからもおもしろいと評判です。それもそのはず、桐井さんは以前、長野県のテレビ局で記者やカメラマンをしていたという経歴の持ち主。取材力の高さや動画の出来栄えにも納得です。

親戚の家があったことから子どもの頃によく砂川を訪れていたそうですが、道外に出ると多くの人にとって砂川は「知らないまち」という認識だと感じ、前職のスキルを活かして魅力を発信したいと思ったそうです。実際に住み、取材などを通して砂川の印象も変わったといいます。「有名なスイーツはもちろん、それ以外のおいしいものや、自分を受け入れてくれる優しい人たちにもたくさん出会え、魅力が詰まったまちだと感じました。移住を検討するときに『知らないまち』は選択肢に入らないので、今後は配信動画を通じて砂川の魅力をさらにアピールし、『どこかで見たことがあるまち』『行ってみたい、住んでみたいまち』に変えていきたいです。」と話してくれました。

チャンネル登録
おねがいします!!

もらったやりがい、「健康増進」で返したい

トレーニングを継続させる秘けつ

砂川市ではスポーツを通じた市民の健康づくりを推進する事業を行っています。これを担当しているのが、河嶋さん、堅田さん、上田さんの３人の協力隊員です。主に総合体育館のトレーニングルーム利用者の指導やトレーニングメニューの作成など、健康増進に関する業務を行っています。

メニューを作成するうえで気をつけていることを３人に伺うと、「一人ひとりの体の状態に合わせたメニュー作りをすること（河嶋さん）」、「内容を頻繁に変えて飽きさせない工夫をすること（堅田さん）」、「器具を使ったメニューばかりではなく、家でも一人でできるように作ること（上田さん）」と、それぞれの考え方で作られています。しかし、どのようにしたら市民の方がトレーニングを継続しやすくなるかを第一に考え、無理は絶対にさせないという部分は共通しています。

子ども向けの「みまもりんご体操」も考案中

今年の夏には、上田さんが中心となり、「すながわ音頭」の振り付けを体操用にアレンジした「みまもりんご体操～すながわ音頭バージョン～」を考案。制作に約２週間をかけ、高齢者の方でもやりやすい動きを意識したとのことです。今後は子ども向けのパターンも作る予定とのことで、「子どもからお年寄りまでもっとこの体操を地域に根付かせていきたいです。」と上田さんは話します。

自分たちだからできること

「このトレーニングのおかげで体の調子が良くなった」と言われたときや、トレーニングを継続してくれている方を見ると、やりがいを感じると３人は声をそろえます。「市の事業である出前講座や文化祭のように、市民の皆さんと行うイベントや幅広い年齢層の方とのスポーツ活動など、自分たちだからこそできる取り組みをもっと行い、健康増進を向上させていきたいです。」

総合体育館トレーニングルームの様子

【利用者の声（女性）】

「河嶋さんのトレーニングメニューを利用しています。私はスノーボードをしますが、膝が悪いため体の調子に合わせて無理なくできるメニューを作ってもらっています。トレーニングを始めて１年以上たちますが、もうすぐ来る雪のシーズンに向けて、まだまだ続けていきたいです。」

【プチ情報】

総合体育館のトレーニングルームは、夜は混雑しやすく、利用時間を90分に制限することもあります。13時～17時が比較的すいています。

日頃の健康のために「みまもりんご体操」をぜひ活用ください！

かただ ゆうたろう
堅田 優太郎 さん
（隊員歴２年目）

配　属：スポーツ振興課 振興係
出身地：恵庭市
趣　味：サッカー観戦、映画鑑賞

うえだ かい
上田 海 さん
（隊員歴１年目）

配　属：スポーツ振興課 振興係
出身地：千歳市
趣　味：プロ野球観戦、ギター

かわしま さとみ
河嶋 聡美 さん
（隊員歴２年目）

配　属：スポーツ振興課 振興係
出身地：砂川市
趣　味：バスケ観戦、コーヒー店巡り

（元地域おこし協力隊）
「おむすび満」
店長　ふなだ みつる
船田 満 さん

協力隊から「おむすび」で起業 砂川の米、根付かせたい

私は大阪に住んでいましたが、北海道にはスノーボードを楽しみに学生の頃から何度も来ていました。バイクで北海道を一周したこともあります。大阪で退職したことを機に、私にとって良いイメージがあった北海道へ行こうと決め、４年前に移住してきました。

初めは新得町のトムラウシ温泉で主にホテルのレストラン業務を学びました。登山客におむすびを作ることもあり、多いときで１日200個も作りました。普通のお米で作った普通のおむすびでしたが、「おいしかった」「ありがとう」と言ってもらえたことがうれしく、「このおむすびを有名なゆめぴりかで作ったらおもしろいのでは？」と考えました。それから、ゆめぴりかや地域おこし協力隊について調べていたら砂川市にたどり着き、令和元年に砂川市の地域おこし協力隊になりました。

縁もゆかりもない場所に来ましたが、市民の方がとても優しかったため、まちに溶け込みやすかったですし、協力隊の活動では観光業務を通して商店街の方とイベントなどで関わる機会が多く、たくさんの方とのつながりができました。令和２年には、まちなか集客施設 SuBACo で勤務しながらゆめぴりかにこだわった「おむすび満」を開店することができました。これからも砂川のお米のおいしさを市内にも市外にも伝え、根付かせていきたいです。

千葉（ちば） 十太（とおた） さん
（隊員歴２年目）

配　属：商工労働観光課
出身地：札幌市
趣　味：猫と犬の散歩

オリジナルカレーまもなく完成

令和元年度から始まった「オアリパ」を担当する千葉さんは、まちなか集客施設ＳｕＢＡＣｏにいます。オアリパとは「オアシスリパブリック」の略称で、市内と周辺地域の事業者が集まり、連携して魅力を域内外に広げることをコンセプトに商品・サービスの開発や情報発信などを実施しているプロジェクトです。

千葉さんは主に商品開発を行っており、現在はオアリパのメンバーと砂川産の肉や野菜を使ったオリジナルカレーを開発中で、12月ごろに完成予定とのこと。また、月に１回開催している空知の魅力があふれる野菜や限定スイーツなどが盛りだくさんのマルシェの企画も行っているとのことです。

オアリパは今年の５月に国土交通省主催の「まちづくりアワード」構想・計画部門にて、従来に無い取り組みが認められ、特別賞を受賞しました。「関係者の皆様がこれまでたくさんの困難を超えて継続してきた成果だと思っています。今後は、商業と移住を結び付けていき、起業や事業を始めようとしている人が住みたいと思えるようなまちづくりをしていきたいです。また、オアリパが８月に一般社団法人オアリパとなったことから、砂川の魅力を広げるというオアリパの目的を達成するため、より一層取り組みに励みます。」

▲一般社団法人オアリパを設立

砂川の魅力を内から外へ 魅力を求めて外から内へ

佐藤（さとう） 明義（あきよし） さん
（隊員歴１年目）

配　属：商工労働観光課
出身地：砂川市
趣　味：プロレス観戦

商店街をより活性化するために

今年発足した北海道ベースボールリーグの野球チーム「すながわリバーズ」は、発足１年目にして見事リーグ優勝を成し遂げました。そのチームの監督を務めたのが協力隊員の佐藤さんです。佐藤さんは、まちなか集客施設ＳｕＢＡＣｏから商店街の情報や魅力をＳＮＳで発信し、商店街の人が盛り上がるイベントや喜ぶ事業をこれからやっていきたいと考えています。

佐藤さんの来年の目標は「ワーケーション」の誘致に力を入れることだそうです。ワーケーションとはワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語です。例えば、平日は市内で仕事をし、休日は市内の観光などをして過ごしてもらい、結果的に砂川での起業や定住につなげることが狙いとのこと。「前職のマーケティングの知識を活かして、ＳＮＳやホームページなどを通して砂川の良さを市外の人にも知ってもらいたいです。そして、令和６年にＳｕＢＡＣｏが駅前に移転することに伴い、活動もより一層頑張っていきたいです。ＳｕＢＡＣｏとすながわリバーズの両面から砂川市を盛り上げられたらと思います！」

▲すながわリバーズの監督という一面も

今回の特集では、８人の地域おこし協力隊の活動の一部を紹介しました。満面の笑顔で取材に答える姿の裏では、隊員それぞれが難しい問題と向き合いながら今後の展望を持って「自分が砂川でできることは何か」という問いの答えを探しています。協力隊員の活動は YouTube や Facebook などの SNS を通しても見ることができます。今後も砂川の地域おこし協力隊の活躍に、ぜひご期待ください。

11/30は個人事業税第2期納期限

納税通知書は8月に第1期分と併せて送付していますので、お確かめのうえ、金融機関、郵便局、コンビニエンスストアまたは空知総合振興局納税課窓口で納期限までに納めてください。第2期の納税通知書がお手元にない場合はご連絡ください。

▶**個人事業税の納税相談は空知総合振興局納税課まで**

個人事業税を一括で納めることができない場合は申請により納税が猶予される制度がありますので、ご相談ください。

問空知総合振興局納税課
℡ 0126-20-0055

新規求人情報

市内企業では、ハローワーク砂川を通じて、新規求人を次のとおり行っています。

募集内容

職種	年齢	求人数
工場作業員	59歳以下	1
事務	不問	1
施設警備	18歳以上	1
看護師・准看護師	64歳以下	1
ユニック運転手	64歳以下	1
販売事務	59歳以下	1

（11月4日現在）

問ハローワーク砂川℡ 54-3147

第75回 砂川市はたちの集い

対象の方には案内を送付しています。案内が届かない場合やご不明な点などがありましたらご連絡ください。

●**とき**　1月8日㈰　14:00～16:00（受付13:00～13:45）
●**ところ**　地域交流センターゆう
●**対象**　平成14年4月2日～同15年4月1日生まれの方で、次の「●**要件**」のいずれかを満たす方
●**要件**
①本市に住民登録をされている方
②過去に砂川市に在住し、出席をご希望の方（事前にご連絡ください。）
●**申込**　出席をご希望の方は案内に掲載している出欠確認用QRコードより申し込みください。ご家族の出欠確認もあわせて行います。
※新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。感染症対策については案内に同封し、お知らせします。

問社会教育係℡ 74-8379

空知管内地方税合同公売会

差し押さえ物件の合同公売会を開催します。

●**とき**　12月4日㈰　12:00～13:00
●**ところ**　空知総合振興局4階講堂
●**持ち物**　印鑑（法人は代表者印）、身分証明書、委任状（代理入札の場合）、買受代金（現金）

問空知総合振興局納税課
℡ 0126-20-0055

石山中学校「惜別の日」

昭和45年に開校した石山中学校が今年度末をもって53年の歴史に幕を下ろし閉校となります。石山中学校の歴史や思い出を振り返り、懐かしむ機会として校舎を公開する「惜別の日」を開催します。予約は不要ですが、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

●**とき**　11月26日㈯　9:00～12:00
●**ところ**　石山中学校
※生徒玄関からお入りください。
●**内容**　校舎内自由見学・記念映像上映（随時）

問閉校協賛会事務局 田畑（石山中学校 教頭）℡ 53-3248
Eメール：ishi-j@schoolsunagawa.jp

新築・増築・取り壊しの際はご連絡を！

市では、住宅や車庫などの建物の新築・増築・取り壊しなどを把握するため毎年実地調査を行っていますが、調査後に建物の状況が変わったときは確認できない場合があります。今年中に建物を新築・増築・取り壊した場合、令和5年度からの固定資産税が変更になることがありますので、お早めにご連絡ください。また、登記されていない家屋（未登記家屋）を売買・贈与などした場合は、市に届け出が必要ですのでご連絡ください。

問資産税係℡ 74-5637

※事業などに参加の際は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ご家庭で検温をし、必ずマスク着用のうえご参加ください。ご家族も含め発熱や体調不良がみられる場合は参加をご遠慮ください。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては事業を延期または中止、一部変更とする場合があります。

年末年始のごみ収集日程が変わります！

家庭ごみの分別収集は、今年から12月31日㈯～1月3日㈫まで休みとなります。1月4日㈬から通常どおり収集を行いますので、ご協力をお願いします。

問環境衛生係TEL 74-4769

年末年始のごみ収集日程

	北・中地区	南地区
29日㈭	収集なし	燃やせるごみ
30日㈮	燃やせるごみ	生ごみ
12月31日㈯～1月3日㈫	休み	
4日㈬	生ごみ	燃やせないごみ

※今年から収集日程が変わりますのでご注意ください。

地域医療連携室・がん相談支援センターが移動します

市立病院本館1階の地域医療連携室とがん相談支援センターは、12月5日㈪より本館2階多目的ホール向かいに移動します。エスカレーターまたは中央ホールの2階専用エレベーターをご利用のうえ、お越しください。

問市立病院地域医療連携室TEL 54-2131

第3回創業セミナー

- **とき**　11月22日㈫　18:00～20:00
- **ところ**　商工会議所2階　大会議室
- **対象**　創業に関心のある方、創業後間もない方（創業後5年未満）など
- **定員**　20人
- **参加料**　無料
- **内容**　【財務】「会計の基本・創業融資や事業計画書のポイント」
- **講師**　中小企業診断士　大野昌人 氏

※創業支援に積極的な日本政策金融公庫札幌北支店 佐藤修 氏のご講演もあります。

- **申込**　参加申込書に必要事項を記入のうえ下記へ

※参加申込書は商工会議所、市役所商工労働観光課（2階24番窓口）、まちなか集客施設SuBACoに備えているほか、市ホームページからもダウンロードできます。

問商工会議所TEL 52-4294

犯罪被害者週間

11月25日㈮～12月1日㈭までは「犯罪被害者週間」、また、11月25日は「北海道犯罪被害を考える日」です。犯罪被害者などが置かれている状況や支援の必要性について考え、社会全体で守り、支えていく気運を高めていくことが重要です。

問滝川警察署犯罪被害者支援係TEL 24-0110

※事業などに参加の際は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ご家庭で検温をし、必ずマスク着用のうえご参加ください。ご家族も含め発熱や体調不良がみられる場合は参加をご遠慮ください。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては事業を延期または中止、一部変更とする場合があります。

「令和４年台風第 15 号災害」義援金にご協力ください

令和４年台風第 15 号の影響により、静岡県を中心とする東海地方で甚大な被害が出ています。この災害で被災された方々を支援するため、日赤砂川市地区では義援金を受け付けています。市民の皆さんのご協力をお願いします。

【市役所窓口での受け付け】社会福祉係（1 階 13 番窓口）へご持参ください。

- **受付期間**　12 月 28 日㈬まで

※寄付金控除対応の領収書を発行します。　※支援物資の受け付けは行っていません。

【専用口座へ直接振り込み】

- **金融機関**　ゆうちょ銀行
- **口座記号番号**　00150-9-588320
- **口座名義**　日赤令和４年台風第 15 号災害義援金
- **受付期間**　12 月 28 日㈬まで

※ゆうちょ銀行・郵便局窓口での取り扱いの場合、振込手数料は免除されます。
※受領証の発行を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と記載してください。

市役所からの電話やメールによるお願いは行っていませんので、ご注意ください

問日赤砂川市地区（社会福祉係）TEL 74-8103

令和４年度 会計年度任用職員募集

- **任用予定期間**　令和４年 12 月１日～同５年３月 31 日
- **試験方法**　書類選考および面接試験　　**試験日**　個別に連絡
- **申込方法**　砂川市会計年度任用職員任用申込書兼履歴書（※）に必要事項を記入し、11 月 21 日㈪までに下記の申し込み先に持参または郵送（必着）

※下記の申し込み先に備え付けているほか、市ホームページからダウンロード可。なお、市販の履歴書でも可。

職　種	募集人数	業務内容	報　酬	勤務時間など	休日	資格要件など	詳細・申込
マイナンバーカード事務補助員（市役所）	1	マイナンバーカード窓口受付、書類処理、文書発送、パソコン操作など	時給 925 円～（片道２km 以上の場合、通勤手当支給）	平日 ① 8:30 ～ 17:00 ② 8:45 ～ 17:15 ①②のシフト制	土・日曜日、祝日、年末年始など	なし	戸籍年金係 TEL 54-2121

・６時間以上の勤務の場合は原則１時間の休憩があります。会計年度任用職員の身分は一般職の地方公務員となり、服務規律（職務専念義務や守秘義務など）が適用されます。

こちらに掲載しきれないイベントやニュースは
市ホームページ「すながわ TOPICS」で紹介中！

すながわトピックス　検索

SUNAGAWA TOPICS

まちの話題　フォトニュース

▼同じグループの仲間と協力プレー！

市内５校の６年生が交流

来年度の中学校統合に向けて

10 月 21 日㈮、総合体育館にて、市内小学校の６年生 103 人が集まり、交流会が行われました。中学校統合により来年度から同じ中学校に通うことから、各学校の紹介やクイズ、王様ドッジボールを通して仲を深めました。「ほかの学校と交流できて良かった。次回もたくさん友だちを作りたい」と来年２月に行われる２回目の交流会がさらに楽しみになったようです。

永年にわたり広報配布業務に尽力

佐藤氏ら９人に感謝状

10 月 24 日㈪、市長室にて、「広報委員永年勤続表彰式」が開催され、永年にわたり広報委員として尽力されてきた次の方々に、市長から感謝状と記念品が贈られました。

●広報委員永年勤続表彰

・15 年勤続　佐藤（さとう）あけみ氏

・10 年勤続　立島一徳（たてじまかずのり）氏、笹島敏彦（ささじまとしひこ）氏、岡崎浩一（おかざきこういち）氏、苅部椋子（かるべりょうこ）氏、阿部文子（あべふみこ）氏、小寺真由美（こでらまゆみ）氏

・５年勤続　田中雅則（たなかまさのり）氏、鈴木秀也（すずきひでや）氏

100 歳おめでとうございます

深山（ふかやま）フジエさんが 10 月 20 日に 100 歳の誕生日を迎えられ、市から敬老のお祝いが贈られました。

深山さんは、大正 11 年に奈井江町にてお生まれになり、結婚後、ご主人の仕事の関係で砂川へ転入されました。

いつまでもお元気でお過ごしください。

※深山さんは現在入院しており、面会制限が行われていることから、長男の正三（まさみ）さんにお祝状を贈呈しました。

坂（さか）りよ子（こ）さんが 10 月 28 日に 100 歳の誕生日を迎えられ、市から敬老のお祝いが贈られました。

坂さんは、大正 11 年に美唄町（現美唄市）にてお生まれになり、昭和 21 年頃に結婚を機に砂川へ転入されました。同 26 年頃からは、ご主人の家業の寿ずめ焼き（当時の砂川の特産品）の手伝いをされていたそうです。

いつまでもお元気でお過ごしください。

新刊案内

オススメの1冊

『からっぽのにくまん』
（まつながもえ）

肉まん屋で中身をつめてもらえなかったからっぽの肉まんが、中身を求めて走り出す！ピザ屋、和菓子屋、カレー屋…中身を探すうちにおなかが減りすぎてしぼんでしまった肉まんが駆け込んだ先とは？小さな肉まんの冒険を描いたユニークな絵本。

主な新刊書

10月1日以降に入ってきた新刊書です

文学書

- 越境刑事（中山七里）
- 介護者D（河崎秋子）
- 裂けた明日（佐々木譲）
- シルバー川柳12（全国有料老人ホーム協会）
- 掌に眠る舞台（小川洋子）
- 汝、星のごとく（凪良ゆう）
- ハヤブサ消防団（池井戸潤）
- マル暴ディーヴァ（今野敏）
- 乱鴉の空（あさのあつこ）

実用書ほか

- 阿川佐和子の嘶家に会いたい（阿川佐和子）
- 一生元気に歩ける！転ばぬ先の体幹バランス（木場克己）
- ウクライナ戦記（宮嶋茂樹）
- 絵本で学ぶSDGs（絵本でSDGs推進協会）
- しまずかん（こにしけい）

児童書

- おねえちゃんって、ときどきなきむし！？（いとうみく）
- 日本史の13人の怖いお母さん（真山知幸）
- ぶどうおいしくなーれ（矢野アケミ）

ほか全257冊

問図書館TEL 52-3819

砂川市地域交流センター ゆう 伝・言・板

ゆうにご来館の際やイベント参加にはマスク着用でお越しください。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お知らせしているイベントを中止・内容変更・延期とする場合があります。あらかじめご了承ください。

■手づくりマーケット in ゆう

クリスマスプレゼントにいかがですか？40店舗の手づくり雑貨・作品が並びます。お目当ての作家さんの作品を購入できるチャンス♪お子様にうれしい紙芝居やフォトブースもあります。

◆と　き　12月4日㈰　10:00～14:30

■江戸の闇で遊ぼう「砂川 夜会」

電気がない時代、多くの伝統芸能は月の明かりやろうそくの灯りで行われていました。当時を再現するため、尺八・三味線の演奏、落語、舞踊、太鼓をろうそくの灯りだけで行い、普段とは違う夜の舞台をお楽しみいただきます。

◆と　き　12月9日㈮　19:00～（開場18:30）
◆料　金　一般1,500円

■赤ちゃんが泣いても大丈夫！「ゆりかごコンサート クリスマス ver.」

赤ちゃんや小さなお子さんが楽しめる毎年大人気の「ゆりかごコンサート」。井上美豊子先生のピアノ伴奏にうっとり♪共演の砂川コール・ミュゲーの皆さんの歌声もお楽しみに♪

◆と　き　12月25日㈰　10:30～11:30（開場10:00）
◆料　金　一般500円／高校生以下無料

■ゆう手打ちそば講座

大みそかに縁起をかついで食べる年越しそば。今年は自分で打ったそばで家族と一緒に年越しをして新年を迎えませんか。

※（一社）全麺協のガイドラインを遵守して行います。

◆と　き　12月30日㈮
①9:30～10:30　②10:30～11:30　③11:30～12:30
◆講　師　砂川手打ちそば愛好会
◆料　金　1,500円（そば5人前お持ち帰り）
◆申　込　11月15日㈫～12月15日㈭までにゆうへ

■健康教室「ふまねっと運動」

◆と　き　11月30日㈬、12月7日㈬　10:30～11:30

■ゆう百歳体操

◆と　き　毎週月・木曜日　10:00～11:30
【11月】（24、28日）※24日は11:00～
【12月】（12、15日）※12日は11:00～

施設点検のため11月22日㈫を臨時休館日とします

問NPO法人ゆう事務局TEL 54-3111
チケット取扱い　ゆう、観光協会、砂川パークホテル

■発行　砂川市　〒073-0195　北海道砂川市西7条北2丁目1番1号　TEL 0125-54-2121　FAX 0125-54-2568　メール kohokr@city.sunagawa.lg.jp
■ホームページ　https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp　■編集　総務部 市長公室課 広報広聴係　■印刷　ふじ印刷

保健師のおはなし　コロナ禍で活動量が減っていませんか？

新型コロナウイルス感染症予防のための外出自粛期間があったことなどにより、43.8％の高齢者がコロナ禍前よりも外出頻度が減少したというデータがあります（出典元：令和３年度版厚生労働省白書）。

外出や体を動かす機会が減ったり、人との会話が減ったりなど、生活が不活発な状態が続いてしまうと、身体や認知機能に影響が出て、介護が必要な一歩手前の状態「フレイル（虚弱）」に陥りかねません。フレイルになる原因は人それぞれですが、例えば、外出の機会が減ることによる筋力低下や、生活習慣病を原因とした心不全などの合併症発症による活動量の減少などがあります。また、フレイルが連鎖すること（フレイルドミノ【図１】）により生活自立度は急速に低下します。早めの対策や生活習慣病を適切にコントロールしたり治療することで、フレイルの予防や低下した機能の回復を期待できます！

＊市ではこんな活動をしています！＊

市内のコミュニティセンターや老人憩の家などでは、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら月１～２回程度「いきいき体操」などの活動を行っています。楽しく身体を動かしながら、ご近所さんとのつながりもできます。家の外での活動を増やして、フレイル状態を予防しましょう！参加をご希望の方には日程などをお知らせしますので、ふれあいセンターへご連絡ください。

【図１】フレイルドミノ

問ふれあいセンターTEL 52-2000

砂川市公式LINE

友だち登録は
お済みですか？

問広報広聴係TEL 74-8763

戸籍の窓（10月21日～11月10日）、市の人口（10月末現在）は、12月1日号に掲載します

編集後記　▶広報すながわ史上最長（？）10ページに及ぶ協力隊特集、いかがでしたか？▶半年間の取材を通してそれぞれの思いに触れ、私も自分の仕事を頑張ろうと思いました▶協力隊員の皆さん、ありがとうございました！ひ

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。